

佐世保市みちづくりマスタープラン 位置図

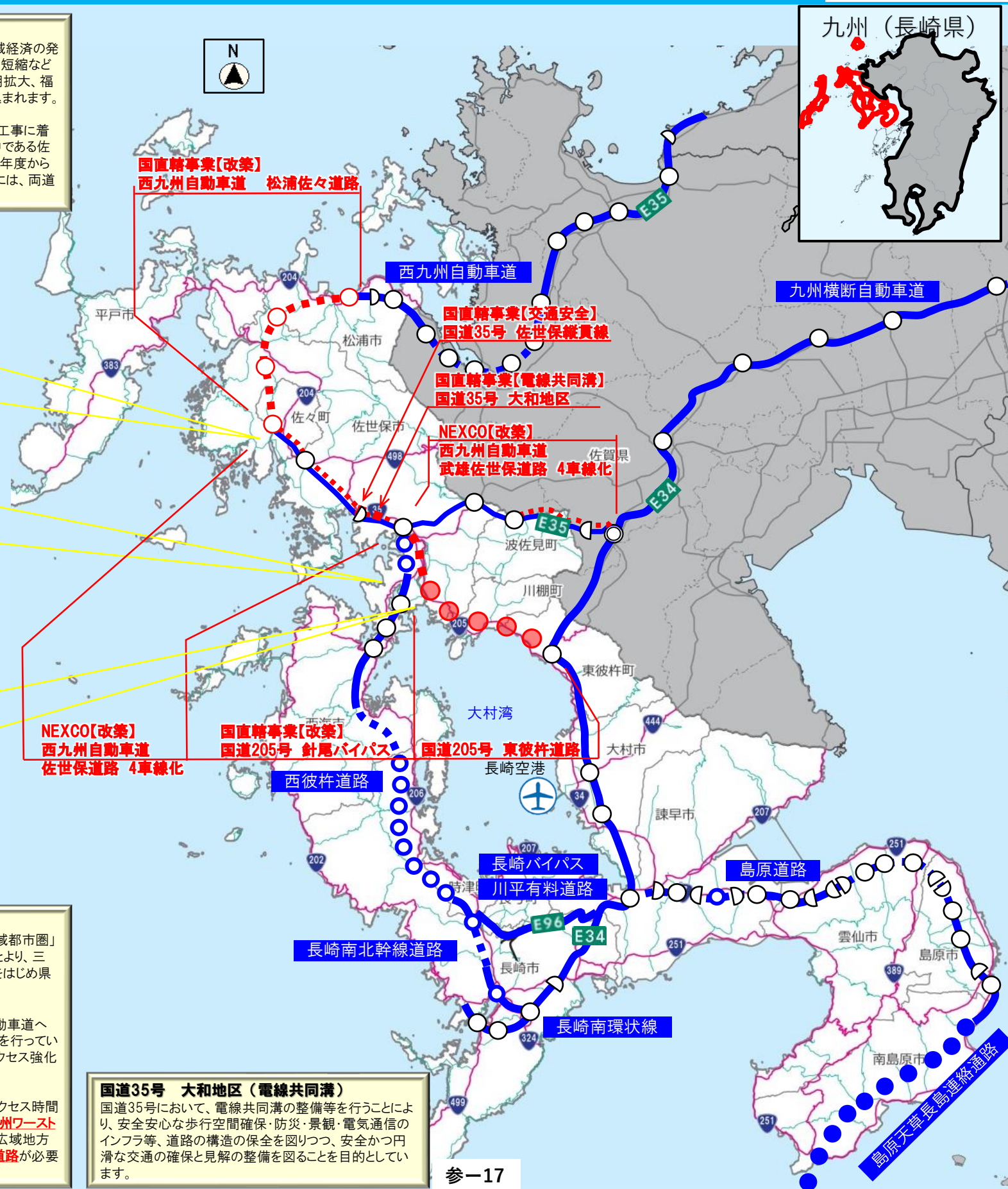
西九州自動車道
 (松浦佐々道路、佐世保道路、武雄佐世保道路)
 国道35号、国道205号 (東彼杵道路、針尾バイパス)

西九州自動車道
 九州西北部の主要都市間の連携強化・一体化を促し、地域経済の発展、活性化に寄与する道路であり、農水産物の輸送時間短縮などによる販路拡大、工業団地への企業進出に伴う新たな雇用拡大、福岡方面からのアクセス時間短縮による観光客の増加が見込まれます。
《現況・課題等》
 西九州自動車道の松浦佐々道路については、H28年度に工事に着手され、鋭意、事業の進捗が図られています。また、供用中である佐世保道路については、有料道路事業による4車線化にH30年度から事業着手されています。本土最西端地での**地方創生実現**には、両道路の**早期全線開通は必要不可欠**です。



東彼杵道路
 長崎県北地域と、県央・県内地域を結び「西九州させぼ広域都市圏」の連携を支える広域道路ネットワークであり、地域住民はもとより、三次救急医療機関・長崎空港へのアクセス、ハウステンボスをはじめ県内の周遊観光を支える重要な路線です。
針尾バイパス
 佐世保市南部の慢性的な交通渋滞の緩和及び西九州自動車道へのアクセス向上などを目的とし、暫定2車線区間の4車線化を行っている西九州自動車道や、西彼杵地区及び東彼杵地区とのアクセス強化を図り、地域活性化や観光振興に寄与します。
《現況・課題等》
 九州主要都市(人口20万人以上)から最寄り空港までのアクセス時間について、佐世保市～長崎空港のアクセス時間は70分(九州ワースト1位)長崎市と比較すると、**移動時間は約1.7倍**。九州圏広域地方計画における基幹都市圏の形成のため、**規格の高い環状道路**が必要不可欠です。※計画段階評価資料より

国道35号 大和地区 (電線共同溝)
 国道35号において、電線共同溝の整備等を行うことにより、安全安心な歩行空間確保・防災・景観・電気通信のインフラ等、道路の構造の保全を図りつつ、安全かつ円滑な交通の確保と見解の整備を図ることを目的としています。



凡例

- 高規格道路
- 事業中区分
- 計画路線
- 候補路線